



図1 株間、切りも重およびこれらの組合せが規格内収量に及ぼす影響

- 1)十勝農試 2014～16年、畝幅90cm(寄せ畦)、マルチ有における平均値。
- 2)括弧内の数値は株間24cm、切りも重100gの「音更選抜」を100として算出。
- 3)株間試験の切りも重は100gで実施。
- 4)切りも重試験の株間は24cmで実施。
- 5)図中の縦棒は年次間の標準誤差を示す。

表1 一本重と品種がいも形比に及ぼす影響

品種	規格	一本重(g)	調査本数	いも形比
とちかち太郎	2S、3S	200-399	2	10.4
	S、M	400-599	42	10.4
	L	600-799	115	10.3
	2L	800-999	177	10.1
	3L	1,000-1,199	176	10.0
		1,200-	282	9.6
音更選抜	2S、3S	200-399	5	11.5
	S、M	400-599	41	12.3
	L	600-799	179	12.0
	2L	800-999	228	11.4
	3L	1,000-1,199	200	11.0
		1,200-	182	10.7

分散分析	一本重		**
	品種	-	**
	一本重×品種	-	**

- 1)十勝農試2014～16年マルチ有で生産された規格内品(多数本株を除く)から算出。
- 2)いも形比=全長(cm)/いも径(cm)
- 3)**:1%水準で有意。

表2 各栽培法における「とちかち太郎」の規格別重量割合と生産費

規格	一本重(g)	各栽培法における規格別重量割合(%)			
		慣行栽培	切りも軽量化	密植栽培	切りも軽量化+密植栽培
2S、3S	200～399	2	3	3	1
S、M	400～599	2	6	4	8
L	600～799	6	11	13	21
2L	800～999	17	19	26	26
3L	1,000～	72	61	54	43
種苗費(円/10a)		43,428	30,400	57,759	40,388
労働費(円/10a)		138,868	132,034	146,386	137,273
その他(円/10a)		327,317	327,317	327,317	327,317
全算入生産費(円/10a)		509,613	489,750	531,462	504,978
規格内収量(Kg/10a)		5,456	4,814	6,249	5,604
収量当たり生産費(円/Kg)		93	102	85	90

- 1)慣行栽培:栽植密度4,630株/10a、切りも重100g。
- 2)切りも軽量化:栽植密度4,630株/10a、切りも重70g。
- 3)密植栽培:栽植密度6,173株/10a、切りも重100g。
- 4)切りも軽量化+密植栽培:栽植密度6,173株/10a、切りも重70g。
- 5)規格別重量割合および規格内収量は2014～16年試験で得られた値。
- 6)収量当たり生産費は十勝管内における実態調査(2012年)における生産費を5)の規格内収量で除した値。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研十勝農業試験場

電話 (0155) 62-2431 E-mail: tokachi-agri@hro.or.jp